

2021 年度 事業報告書

特定非営利活動法人コスファ COSFA

1 事業の成果

2021年度、コロナ禍の中でのオリンピック開催後、多少の小康状態が保たれたが、その後のオミクロン株の蔓延はワクチン接種の遅れなどで、収束の気配がない。オミクロン株の感染は低年齢層にまで及び、多くの活動場面で影響をおよぼしている。特に2022年に入り、コスファ事業体でも、メンバーの感染があった。幸い、各事業に大きく影響はなかったが、NPO法人コスファの唯一の財源であるホール利用料も昨年に続き多くはなかった。また各事業体にとっても種々の材の値上がりの対策に追われた。

そんな中、前年のコロナ禍での活動から見えてきた対策の一部として、「COS下北沢のオンラインスタジオ化」をテーマに、大和証券福祉財団助成に応募し、採用されたことは大きな成果である。地域のまちづくり団体にも声をかけ、協力が得られることとなった。活動期間が2022年1月～12月なので、具体的な活動は、2022年度、十分な議論を重ねながら行う。

2 事業の実施に関する事項

コロナ禍以外にも、近隣に火災があり、火災、不審者対応など日常、非日常でのCOS下北沢の維持管理について再確認の必要性を感じた。各行政機関からの情報や事業体間の連携など、新たな対応を実施し、今後も検討を続ける。

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 7,057 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
コーディネーター事業	「COS(コーポラティブスペース)下北沢」の円滑な運営と管理	4月~3月	北沢2丁目他	10名	COS下北沢事業団体	50名程度	6,641
相談事業	地域を豊かで暮らしやすいスペース「コーポラティブスペース」の創出相談対応体制の準備	4月~3月	北沢2丁目他	3名	世田谷区 その他の市民(主に見学対)	3名程度	0
地域住民交流事業	イベントの実施、日常的な居場所として	4月~3月	北沢2丁目他	3名	世田谷区内外	延べ400名程度	383
まちづくりを推進するための情報提供事業	広報誌の発行 防災マップ作製 ホームページの充実	年一回発行 随時	北沢2丁目他	5名程度	世田谷区内外 1000部 1000部	不特定多数	33
調査研究事業	研修・講演会	年度内	世田谷区	0名	世田谷区 その他の市民	0名	0